



## 日本には、火山がいくつあるの

### 現在は、休火山、死火山といういい方はしない

火山には、現在も噴火して、活動を続けている火山と、昔、活動した記録が残っている火山があります。

以前には、桜島のように、現在も活動を続けているものを活火山、富士山のように、噴火の記録が残っているが、現在は活動していないものを休火山、大雪山のように、いろいろなことから、火山であることはわかっているが、噴火の記録がまったくないものを、死火山とよんでいました。

しかし、死火山といわれていたものが、急に噴火したこともあったので、現在では、火山をこのように分けません。噴火の記録がなくても、過去10世紀ほどの間に、噴火したことが、科学的に証明されたものを、活火山とよんでいます。

### 日本には約70ある

日本には、約150の火山があります。その中で、今も活動している火山は約70あります。

日本を代表する火山には、富士山、伊豆大島(三原山)と三宅島、浅間山と桜島、阿蘇山と諏訪之瀬島、有珠山、磐梯山などがあります。

浅間山と桜島は、ねばりけの多い溶岩をふき出して、激しく噴火し、噴煙を1万メートル以上の上空に、ふき上げることもあります。ときには、溶岩が流れますが、流れにくく厚くたまります。日本には、この型の火山が多いのです。(監修・国司 真)

